

みやぎ 県政だより

毎月1日発行
平成19年1月1日
第442号
JAN.2007

1

新春インタビュー

特集

「仙台空港アクセス鉄道」 いよいよ開業

仙台市



どんと祭(仙台市)

小正月の1月14日に松飾りなどの正月飾りを焼いて、新年の無病息災や商売繁盛を祈る「どんと祭」。仙台の冬の風物詩として有名な大崎八幡宮の「裸参り」は毎年多くの団体が参加します。
問:仙台市観光交流課 ☎022(214)8259



発行 宮城県総務部広報課 〒98008570 仙台市青葉区本町三丁目8番1号 ☎022(211)2280 URL http://www.pref.miyagi.jp/kohou/



みやぎ旬の食材



選び方

切り身は、皮の模様がくっきりして光沢があり、身がほのかにピンクがかっていて張りのあるものを、白子は、透明感があり、身がふっくらしているものを選びましょう。たらは、水分が多く鮮度が落ちやすいので、冷蔵庫で保存する際は、薄く塩を振って余分な水分を抜くといいでしょ。

冬を代表する魚

宮城県が全国第2位の漁獲量(平成17年)を誇る「たら」。「鱈」という漢字が物語るように寒さの厳しい今が旬。食欲が旺盛でおなかが膨らんでいることから、「鱈腹(たらふく)」の語源になったとも言われています。

鍋料理にぴったり

脂肪が少なく低カロリーな「たら」は、淡泊で上品な味で、「たらちり」「寄せ鍋」などの鍋料理のほか、ムニエルやフライなどでも味わえます。また、オスからとれる白子(きく)は、天ぷらや湯引きしてポン酢でいただくのがお勧め。



食産業・商業振興課
☎022(211)2814



宮城県知事
村井 嘉浩

経済を活性化させ やすらぎのある 宮城をつくる

あけましておめでとうございます。新年を迎えてのお気持ちを聞かせてください。

とても落ち着いた気持ちで新年を迎えることができました。知事二年目今年も県政のかじ取りをしつかり行ってきたと決意を新たにしています。昨年は知事としてどんな年でしたか。

四十六年間生きてきた中で、時間が過ぎるのを最も早く感じた一年でした。まず、宮城を元気にしたいという私の思いを形にするため、十年後のみやぎの姿を描く、みやぎの将来ビジョンの案をまとめたほか、観光戦略や国際戦略、財政再建など個別のプランも策定しました。また、民間の力を最大限活用して活気あふれる宮城をつくるため、企業誘致に頻繁に出向くなど、積極的にトップレベルも行ってまいりました。宮城の発展のための道筋をつけたターゲットの年だったと思います。

宮城県をどんな県にしていきたいとお考えですか。

一言でいえば、県民の皆さんが、生まれてよかった、育つてよかった、住んでよかったと思える宮城です。そのためには素晴らしい福祉環境、教育、社会資本整備を目指した県土づくりが必要となります。ところが県の財政は理想の施策に取り組むことが大変難しい状況にあります。そこで、私はまず経済を活性化さ

せ、雇用を生み出し、税収を増やすことから始めようと訴えています。

どのような産業に力を入れていかれますか。

まず、宮城にもつくり産を根づかせたいですね。例えば自動車産業は、関連産業のすそ野が広く、高い品質や技術力、厳しい納期が求められます。この分野に県内の企業が参入することで、ものづくり産業全体のレベルを押し上げるのが可能です。岩手や山形など東北各県と協力して自動車関連企業の誘致などに取り組んでいきます。

自動車産業以外ではいかがですか。

宮城の豊かな自然や食材を活かして観光と食産業にも力を入れていきたいですね。

JRの駅でよく宣伝されていますが、平成二十一年秋に大型観光キャンペーン、仙台・宮城デスティネーションキャンペーンを実施します。たくさんのお客さまをお迎えし、宮城の素晴らしさを味わっていただきたいと願っています。観光によってもたらされる富は、県内GDPの約6%を占めますがこれを機に大幅増を目指しています。

また、私は宮城の食材は日本一だと思っていますが、これまではそれを売り込む努力が足りなかったのではないかと考えています。せしかくのい食材ですからそれを他県や海外に売り込んでいきたいですね。特に、海外で高く評価されることは、宮城の食材のブランド化にもつながると思います。

県民の安全・安心についてはどのようにお考えですか。

知事として一番重要な仕事は県民の皆さんの生命と財産を守ることです。今一番の脅威は宮城県沖地震です。建物の耐震補強の補助や防潮堤の整備などの対策をしつかり行っていきます。昨年十月の低気圧は多くの尊い

新春

2007

インタビュー

あけましておめでとうございます。新年を迎えて、今のお気持ちを聞かせてください。

県民福祉の向上のため、宮城県の発展のために力を尽くし、新しい年を幸せな年にしていきたいと思っています。

昨年は議長に就任された年でしたが、特に印象に残っているのはどんなことですか。

三月に議長に就任して間もなく、トリノオリンピックで金メダルをとった荒川静香さんのお祝いの会があり、議会を代表して表彰状と記念品を直接お渡ししました。荒川さんの金メダルは県民に大きな夢や希望を与えてくれました。県民一人一人が自分の夢や目標に向かって努力し、それが成し遂げられるような社会になって欲しいですね。フィギュアスケート発祥の地である仙台に、荒川静香メモリアルリンクができることが私の初夢です。

荒川さんの金メダルからスタートした昨年でしたが、明るいニュースばかりではなかったですね。

そうですね。全国的にいろいろなことがありました。特に、子どもたちにかかわる問題や飲酒運転の問題など、政治や行政が果たすべき役割が重要な問題が多かったように思います。第七十代丸の海難事故も痛ましい出来事でした。

このような問題について議会はどのような役割を果たしていけますか。

議会は県内各地から選ばれた議員で構成されていますから、県民の皆さんの気持ちや考え方を吸収した上で提案や提言をできるのが議員であり議会の



です。年四回の定例会のときに質問という形で問題を提起する。あるいは、「こういう問題はこういう対応すべきだ」と議員提案の条例というものをつくる。そこに議会が果たす役割があります。昨年二月には子どもたちの安全確保

などのため、犯罪のないみやぎ安全・安心まちづくり条例」を議員提案でつくりました。飲酒運転を防止するための条例も検討しているところです。これまでも、暴走族やリンクマシン対策の条例を議員提案でつくり効果をあげています。宮城県議会は全国の都道府県議会の中で、議員提案の条例の数が一番多いんですよ。

村井知事としての評価を教えてください。

村井知事の良ところは、素直で明るく、人の話を良く聴くところです。判断力や決断力の面でも申し分ないと思っています。村井知事の富県戦略は、県民一人一人が豊かになり、それがエネルギーになって県が発展していくことを目指しています。県民の幸せのために仕事をしている方向性は評価できますので、引き続きがんばって欲しいと思います。県議会としても、知事との緊張関係を保ちながら、協力す

命を奪うなど県内に大きな被害をもたらす私としても大変ショクでした。災害時には情報を適切に提供することが大切ですし、市町村の防災対策に対しても支援していきたいと思っています。

三月にはいよいよ仙台空港アクセス鉄道が開業しますね。

仙台駅から仙台空港まで最短十七分というアクセスの良さは、海外の航空会社に定期便就航を働きかけるうえで大きなセールスポイントになります。今後、アクセス鉄道は宮城だけでなく、東北の空の玄関口として大きな役割を担っていくことだと思います。これを契機に、東北全体が飛躍するための取り組みを東北各県と協力して進めていきます。

普段は家族との時間がなかなかとれませんので、朝食だけは家族だんらんして食べるように心掛けています。また、愛犬ラッキーとの散歩も良い気分転換になりますので日課にしています。

最後に今年の抱負をお聞かせください。

これからみやぎのトップセーラムンとして積極的に行動し、県民みなさんの幸せのため、日々努力していきます。

ありがとうございます。



「この協力を、提言する」という姿勢で取り組んでいきたいと思っています。

議長という仕事は緊張の連続だと思いますが、その緊張を和らげるものは何かありますか。例えば、趣味であるとか。

趣味というわけではないのですが、時間があればちょっとしたドライブを兼ねて、よく家内と小旅行をします。ちょうど山形に行つてそばでも食べようという感じで、こんなことが息抜きの一つかもしれません。あとは、読書も好きですね。最近読んでおもしろかったのは、トクイ遺跡を発見したシュリーマンが書いた本です。彼が幕末の日本を訪れたときに体験した日本の文化風土を絶賛していろいろなことを考えさせられる一冊でした。

最後に今年の抱負をお聞かせください。

宮城県というのは全国的にはなかなか知られていないんですね。これはやはり残念なので、宮城県を日本にとつてなくてはならない存在感のある県にしていきたい。そして、村井県政が間違いない道筋をたどるよう、しっかりとサポートしていきたいと思っています。

ありがとうございます。

インタビューを終えて



東日本放送
『スーパー』チャンネル
みやぎ
『週間ことばマガジン』
アナウンサー
岩田 有未 さん

「志合えば胡越も昆弟たり」「県民のため」という同じ志を持つ村井知事と相沢議長が妥協せずにそれぞれの立場で最善を尽くし、互いを認め合っていることが伝わってきました。お二人のエネルギーを受け、私も自分の立場での最善を尽くすべく、アナウンサーとして、常に県民の皆さんが何を知りたいかを考えながらニュースを伝えたいと思いました。

「仙台空港アクセス鉄道」 いよいよ開業

Sendai Airport Transit



JR名取駅と仙台空港を結ぶ「仙台空港アクセス鉄道」が今年三月に開業します。

鉄道の開業は、空港利用者の利便性を高めるだけでなく、観光客の増加や新たなまちづくりによる地域経済の活性化などの効果も期待されています。

**仙台駅から空港へ
乗り換えなしで十七分**

県では、仙台空港へのアクセスの利便性向上を図り、空港の広域的利用を促進するため、関係自治体や民間企業などとともに投資し、平成十二年四月に仙台空港鉄道株式会社を設立し、鉄道の整備を進めてきました。

JR名取駅から仙台空港に至る延長七・五キロメートルの仙台空港アクセス鉄道は今年三月十八日に開業予定で、JR仙台駅と仙台空港駅間を乗り換えなしで運行します。現状では、仙台駅から空港まで自動車やバスで約四十分かかっていましたが、鉄道が開業すると、快速列車を利用した場合の所要時間が十七分となり、大幅な時間短縮が図られます。さらに、交通渋滞の心配がなく、運行時間が正確なことや、一度に多くの乗客を運ぶことができ、エネルギー効率が高く、環境にやさしいことも魅力です。

また、導入される車両は、ホームとの段差がなく、車いす対応型トイレを備えているほか、駅施設などもバリアフリー化されているなど、誰もが快適に利用しやすいよう配慮されています。



超えるなど、広域的に利用されています。今後、鉄道の開業により、空港への時間到達圏(別図参照)が大幅に拡大することから、より広域的な集客が可能になり、仙台空港利用者の増加が見込まれます。

東北の空の玄関口としての 臨空都市の整備

現在、鉄道の整備に合わせて、「杜せきのした」「美田園」の二つの地区で土地区画整理組合が設立され、新駅を中心とした新たなまちづくりが進められています。杜せきのした地区には東北最大級の大型ショッピングセンターが、美田園地区には宮城・東北の食を堪能できる物産交流施設の立地が予定されています。このように、これらの地域は住宅用地だけでなく、大型商業施設

鉄道の開業を 地域経済の活力に

などの集客施設、オフィス、公共施設などの立地が予定されていて、東北の空の玄関口にふさわしい活力と魅力あるまちに生まれ変わるようになっています。今後のまちづくりの進展により、沿線地域の人口増加や、集客施設の立地に伴う交流人口・鉄道利用者の増加、企業の立地に伴う雇用の拡大など、地域経済への大きな効果が期待されます。

仙台空港アクセス鉄道の開業は、みやぎが大きく飛躍する絶好の機会です。この好機を逃さないためには、鉄道の開業が空港の利便性向上につながる、それが空港利用者や定期便の増加をもたらす、そのことにより鉄道利用者が増加し、地域経済の

「便利」「快適」「速い」。三拍子そろった鉄道です

区間	JR名取駅 - 仙台空港駅約7.1km		
所要時間	JR仙台駅 - 仙台空港駅 快速:約17分	各駅停車:約25分	
運行本数	1時間当たり2～3本		
車両編成	2～6両編成		
運賃	JR名取駅 - 仙台空港駅400円(予定) JR仙台駅 - 仙台空港駅630円(予定)		
開業日	平成19年3月18日(予定)		
事業費	約340億円(見込み)		
利用見込み者数	1日当たり約10,000人		

さらに拡大する 空港の広域的利用

数多くの国際線・国内線が就航する仙台空港は、年間三百万人以上が利用する東北の拠点空港です。東北地方にある九つの空港の総利用者数に占める仙台空港の割合は四割を超え、国際線に限れば約六割にものぼります。

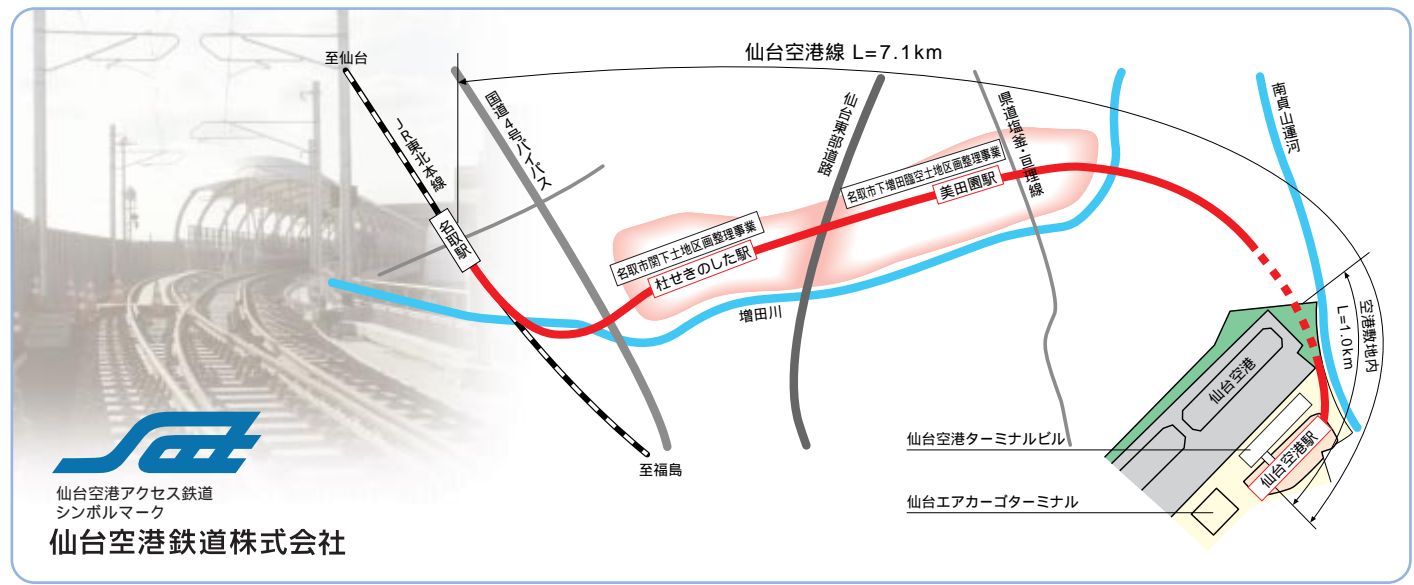
また、仙台空港は、宮城県以外からの利用が七割を占め、そのうち東北五県からの利用が二割を

大きな力となるような好循環を生み出すことが必要です。

そこで、県では、富県戦略の柱として重点的に取り組んでいる観光振興などの産業経済政策において、鉄道の開業を最大限活かしていくことを考えています。具体的には、仙台空港の就航先である関西や北海道、東アジアなどの各都市で積極的に観光PR活動を行い、更なる観光客の獲得を図っていきます。また、仙台空港への新たな定期便の就航や増便に向けたサポートセールスに取り組み、仙台空港の利便性の向上を図り、県内企業の海外での経済活動などを促進する国際戦略にも活かしていきます。



お問い合わせ
臨空地域整備推進課
022(211)3228
http://www.pref.miyagi.jp/rinku/





「全国豊かな海づくり大会」で 大会会長賞を受賞

魚や貝などの水産資源を保護し増やすことと、海の自然環境を守ることの大切さをみんなで考えることを目的として、「第二十六回全国豊かな海づくり大会」が平成十八年十月二十九日天皇皇后両陛下ご臨席の下、佐賀県で開催されました。

この大会で、志津川湾水産資源増殖管理推進協議会が資源管理型漁業部門で最高位となる大会会長賞を受賞しました。これは種苗中間育成放流や水産資源保護のための漁業の自主規制、遊漁者を含めた小型魚再放流の啓発活動、漁場環境保全のための「三袋配布」など、これまで



地元小学生によるクロノイの放流体験

町や漁協、遊漁者などが一体となって取り組んできた活動が高く評価されたものです。県内からの大会会長賞の

受賞は平成三年に栽培漁業部門で志津川湾漁業研究団体連絡協議会が受賞して以来十五年ぶりになります。また、平成九年に志津川湾漁業研究団体連絡協議会が漁場保全部門で水産庁長官賞を受賞しており、南三陸町の漁業団体が三部門ある同大会のすべての部門で受賞という栄誉に輝きました。

南三陸町の水産業は昨年の台風12号や十月の低気圧による甚大な被害を被りました。その復旧作業に全力で取り組んでいる中で、受賞の知らせに、地域の明るい話題として災害復旧にも弾みがつき、地域一丸となって頑張っています。

気仙沼地方振興事務所
南三陸支所水産担当
☎0222(46)6909



マコレイの取り上げ作業

東・西・南・北



人と文化芸術と 感動が出会う場所 「えずこホール」開館十周年

大河原町にある「仙南芸術文化センター」(愛称 えずこホール)は、さまざまな分野の鑑賞事業のほか、学校や福祉施設などに音楽や舞踊などの一流の芸術家を派遣して、本物の文化芸術に触れて体験する講座(アウトリーチ事業)を開催するなど、仙南地域で文化芸術のすそ野を広げる事業を展開しています。

また、ホールでは、連日、ミーツェック・アカデミー(吹奏楽や合唱など音楽五団体)、「えずこシアター」(住民劇団)など、地域の皆さんによる文化芸術活動が行われています。



参加体験型プログラムに興味津々の子どもたち

さらに、ホール公演の企画制作、受付や案内、軽食、PTナード、音響や照明など、舞台裏の運営

にも、地域の皆さんがボランティアで携わり、公演や事業運営を支えています。

二月十七日(土)・十八日(日)には、開館十周年を記念して、住民参加型総合音楽劇「十年音楽テンネンオンセン」が開催されます。プロの作曲家、振付家と地域の皆さんとの協働で新しい創造の舞台公演として県内外に発信し、文化芸術をとおりて人と地域を活性化化する取り組みとして期待されています。

皆さんも、人と文化芸術と感動が出会う場所、えずこホールで文化芸術に触れながら、交流や体験、感動、創造するプログラムに参加してみませんか。
「えずこホール」仙南芸術文化センター
☎0222(452)3004



音楽劇公演に向けて練習に熱が入ります



前回の最優秀作品

リアス四季フォトコンテスト
2006応募作品募集中
気仙沼・本吉地域広域行政事務組合では、「圏域の再発見」をテーマに、気仙沼・本吉地域(気仙沼市、本吉町、南三陸町)の自然、行事、生活などを対象とし、平成十八年1月以降に撮影した写真を募集しています。
入賞作品は「リアス四季写真展」として、リアス・アーク美術館などで展示するほか、この地域の観光PRに活用させていただきます。
応募締切:1月22日(月)
募集部門: 景観部門
くらし・なりわい部門
表彰:最優秀賞(1点) 優秀賞(各部門1点) 入選(5点) 市・町長賞(2部門から若干名)
気仙沼・本吉地域
広域行政事務組合事務局
☎0226(22)9111



おい! SEA 冬の奥松島
~旬の海の幸を堪能~
松島自然の家では、たくさんの人に冬の奥松島の豊富な海の幸を味わってほしい、理解してもらうため「おい!SEA冬の奥松島」を開催します。
ノリづくり・カキむきの体験や海鮮パーベキュー・タッチオープンを使った料理など、盛りだくさんの内容となっています。
開催日:2月24日(土)~25日(日) 1泊2日 参加費:3,000円(3才未満は110円) 募集人数:70人(応募多数の場合抽選) 申込方法:往復はがきに全員の住所・氏名・年齢・連絡先を記入して松島自然の家(〒981-0411住所記入不要)まで。Eメールも可。1月24日 水まで
松島自然の家
☎0225(88)3388
http://www.pref.miyagi.jp/matsushima-cnt/
E-mail:myyagai@pref.miyagi.jp



「どんと祭と冬の花火」
~夜空に咲く大輪の花
登米市石越町で、一味違った趣のどんと祭が開催されます。
神職の祝詞(のりと)とともに集められた正月飾りに点火して祭りが始まり、夜には、焚き上げの炎ごしに花火が打ち上げられ、澄んだ冬空に大輪の花を彩ります。当日は、石越金鶏 きんけい 太鼓やよさこい踊りなどのステージイベントも行われますので、ぜひ皆さんでお越しください。
日時:1月14日(日) 荒天の場合
どんと祭と花火大会のみ15日)
どんと祭 午後4時~
郷土芸能 午後6時~
花火大会 午後7時~
場所:石越総合運動公園特設会場
登米中央商工会石越町支所
☎0228(34)2064



一年の無病息災を願って
「せみね裸参り」
栗原市瀬峰地区で、どんと祭に併せ、「せみね裸参り」が行われます。この行事は、有志の集まりである「瀬峰まつりの会」が町おこしの一つとして企画し、平成元年から行われています。
今年も瀬峰公民館で出発式を行った後、さらし姿の人々が太鼓や鐘を鳴らしながら瀬嶺八幡神社までの約2kmの道のりを練り歩きます。途中、家々で家内安全を願って一本締めを行い、最後に神社のご神火と祈祷で一年の健康を願います。どなたでも参加できます。特に成人になられる方や厄年の方、参加してみませんか。
日時:1月14日(日)午後6時~
栗原市瀬峰総合支所
☎0228(38)2114



年の初めの腕くらべ
「小さなおひなさま展」開催
あどけなく、純粋な子どもの心を思わせるように微笑む鳴子こけしは江戸時代末期から造られるようになったと推定されています。その伝統の技を引き継ぐ工人たちが企画した「小さなおひなさま展」が開催されます。
鳴子のこけし工人に加え、遠刈田系や山形系の工人も参加して、「年の初めの腕くらべ」と工人たちが思い思いに作成した雛こけしなど約500点が展示されています。この企画展を楽しみに鳴子を訪れる方も増えていくとのこと。ぜひ、お立ち寄りください。
開催期間:1月2日(火)~3月4日(日)
時間:午前8時~午後5時
開催場所:こけしの菅原屋
入場料:無料
こけしの菅原屋
☎0229(83)3664



おおさと「夢」劇団公演
第5回「大郷町民劇場」開催
おおさと「夢」劇団は、大郷町の町民による手づくりの劇団です。毎年「大郷町民劇場」として公演されるその本格的な演劇は、多くの方から好評を博しています。5回目を迎える今回は、大郷町に伝わる昔話「板谷齊兵衛(いたやさいべい)の大蛇退治」を題材にした演劇を公演します。劇団員の見応えある舞台をぜひご覧ください。
日時:1月28日(日)
午前10時30分~午後2時30分
場所:大郷町文化会館
前売券:高校生以上500円、小・中学生300円 当日券は50円増し。前売券は文化会館にて販売しています。
町民劇場実行委員会
(文化会館内)
☎022(359)3960



雪上車に乗って
蔵王の樹氷鑑賞ツアー
冬の蔵王の風物詩「樹氷」は、蔵王に自生しているアオモリドマツの葉に、強い西風に乘った氷の粒が衝突してできます。風上に向かって成長する姿は、エビの尻尾に例えられています。
「みやぎ蔵王すみかわスノーパーク」発着の暖房完備の雪上車に乗って、蔵王の大自然が織りなす雪と氷の造形「樹氷」を鑑賞するツアーに参加してみませんか。運行日の1カ月前からツアーの予約ができます。
運行日時:1月13日(土)~3月21日(水) 午前11時(毎日) 午後1時(土日祝)
料金(往復):大人4,200円 小学生以下3,500円
みやぎ蔵王すみかわスノーパーク
☎0224(87)2610
http://www.zao-sumikawa.jp/



みやぎの中山間地 写真コンクール作品募集

中山間地域の美しい風景や農業・農村のすばらしさをPRするための写真を募集します。
対象 = アマチュアの方
テーマ = 県内の中山間地域の農村風景、祭り、農作業、生活の様子などを題材にした未発表作品
規格 = 四つ切り(ワイド可)、デジタルカメラでの撮影可
応募期限 = 2月28日(水)
問 県むらづくり推進課 ☎022(211)2883
<http://www.net-miyagi.org/>

県第二工業高等学校 電気科特別編入生募集

対象 = 第3種電気主任技術者、または第1種・第2種電気工事士資格取得を目指す高校卒業生(予定者を含む)
募集人数 = 若干名(性別は問いません)
編入学年 = 第3学年
試験日 = 3月26日(月)
試験内容 = 数学、作文、面接
出願期間 = 3月2日(金)～22日(水)午後5時
受験手数料 = 950円
問 県第二工業高校 ☎022(221)5659

婦人会館の愛称募集

県民の生涯学習や憩いの場、各種女性団体の研修の場として親しまれている「宮城県婦人会館」の愛称を募集します。
応募資格 = 県内在住の方および宮城県にゆかりのある方
募集期間 = 1月4日(木)～31日(水)

賞 = 採用者に2万円分の図書券を贈呈
応募方法 = はがき、FAX、Eメールに住所、氏名、年齢、電話番号、愛称の案を記入し、下記へ
問 宮城県婦人会館 〒980-0012仙台市青葉区錦町1-1-20 ☎022(222)7721 FAX 022(222)7815 Eメール info@fujin-kaikan.or.jp

白銀親子のつどい

内容 = 雪遊び、キャンドルファイヤー、歩くスキー、そり滑りなど
期日 = 2月10日(土)～11日(日)(1泊2日)
場所 = 自然の家周辺
対象 = 小・中学生を含む親子30組100人
費用 = 2,800円程度
申し込み = 1月4日(木)～18日(水)(月曜日を除く)の午前9時～午後5時に蔵王自然の家 ☎0224(34)2101へ(応募多数の場合、抽選)

スノーパラダイス・イン・泉ヶ岳

内容 = ①アルペンスキー(初心者・初級者向け)②スノーボード(初心者向け)③雪遊び(雪でできた家「イグルー」作り、そり遊びなど)
期日 = 2月3日(土)～4日(日)(1泊2日)
場所 = 自然の家周辺、泉ヶ岳スキー場
対象 = 小学生以上70人(雪遊びは幼児可、中学生以下は保護者同伴)
参加費 = 2,950円(リフト代、ボードレンタル代は別途)
申し込み = 1月4日(木)～10日(水)(月曜日を除く)の午前9時～午後5時に泉ヶ岳自然の家 ☎022(379)2311へ(応募多数の場合、抽選)

県営住宅入居者募集

受付期間 = 1月5日(金)～12日(金)
申込方法 = 専用の申込用紙で郵送(1月12日(金)までの消印有効)
案内書 = 1月4日(木)から建築住宅センター、県営住宅所在の各市区町の担当課、仙台市の各行政サービスセンター、各地方振興事務所、各公共職業安定所で配布
問 宮城県建築住宅センター ☎022(224)0014 24時間テレホンサービス ☎022(213)1861 <http://www.mkj.or.jp>
問 県住宅課 ☎022(211)3252

宮城米キャンペーン キャラクター募集

宮城米を全国にPRするキャンペーンキャラクターを3人程度募集します。
資格 = 県内在住の満18歳以上の方で、平成19年4月1日～平成20年3月31日までの1年間、全国各地での各種行事に参加できる方(休日に限らず、100日程度)
応募期限 = 1月31日(水)(消印有効)
賞 = 宮城米、賞金ほか
問 宮城米マーケティング推進機構(県食産業・商業振興課内) ☎022(211)2815 <http://www.pref.miyagi.jp/syoku-syou/>

★ 催し

IT技術者向け企業合同説明会

内容 = 企業からの業務内容説明、企業との個別相談

対象 = IT技術者として県内で就職を希望される方
日時 = ①1月15日(月)午後1時～4時 ②2月16日(金)午後1時～4時
場所 = 仙台駅前アエル5階多目的ホール
申し込み = ①1月12日(金)②2月13日(火)まで、しごと情報館 ☎022(771)6630、または仙台、大和、塩釜の各ハローワークへ
問 県情報産業振興室 ☎022(211)2479

「県庁参観デー」開催

県民の皆さんに県庁をより身近に感じ、そして県政への理解を深めていただくため、「県庁参観デー」を開催します。
内容 = 村井知事の講話、震災への備え・消費生活の知識に関する講座、行政庁舎・県議会議場・県警本部の見学など
日時 = 1月26日(金)午前11時～午後3時40分
定員 = 40人(応募多数の場合、抽選)
申し込み = 1月16日(火)まで、電話、またはFAX・Eメール(住所、氏名、年齢、電話番号を記入)で下記へ
問 県広報課 ☎022(211)2285 FAX 022(263)3780 Eメール kohokt@pref.miyagi.jp <http://www.pref.miyagi.jp/kohou/>

金融・経済講演会

日時 = 1月27日(土)午後1時30分～3時
場所 = 仙台国際センター「橘」
テーマ = 「これからの暮らしと経済」
講師 = 東洋大学教授白石真澄氏
参加費 = 無料(定員300人)
申し込み = 1月19日(金)まで、県生活・文化課 ☎022(211)2523へ

1月10日は「110番の日」

素早い通報は、事件・事故解決の決め手です。事件や事故に遭ったり、目撃したりしたら、その場からすぐに110番通報してください。
各種相談や届出などは、☎022(266)9110、プッシュ回線の場合は#9110をご利用ください。
【110番ふれあい広場】
日時 = 1月10日(水)午前10時～11時30分
場所 = 仙台駅2階ステンドグラス前広場
内容 = 110番通報の広報活動

相談

女性医師による女性の健康相談

思春期や更年期に伴う身体的・精神的不調、家庭や職場でのストレスなどで悩んでいる女性の相談に応じます(完全予約制・相談無料)。
相談日・場所 = 毎週土曜日の午後/仙台市医師会館(仙台市若林区舟丁64-12)
移動相談 = 2月3日(土)(塩竈市)
場所は予約時に伝達
予約先 = ☎090(5840)1993
問 県健康対策課 ☎022(211)2623

県財政の硬直化進む - 平成17年度普通会計決算 -

平成17年度普通会計決算は、歳入は7年連続の減少となった一方で、歳出は7年振りに増加に転じました。歳入歳出の差額から翌年度への繰越財源を除いた実質収支は赤字となりましたが、基金への積立、取崩しなどを含めた実質単年度収支は赤字となるなど、厳しい財政状況を反映した決算となりました。また、財政構造の弾力性を示す指標である経常収支比率なども前年より悪化し、県財政の硬直化が一層進展しています。
県ではこのような状況を踏まえ、昨年2月に策定した「新・財政再建推進プログラム」に基づき、県税などの歳入確保対策、職員数の削減などによる行政のスリム化、管理経費や事務事業の徹底した見直しによる歳出の抑制対策を推進しています。
県民の皆さんのご理解とご協力をお願いします。

図1. 歳入決算額の推移

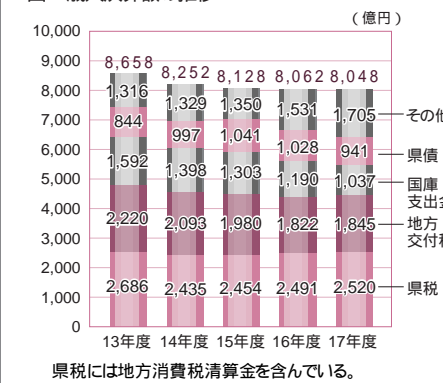
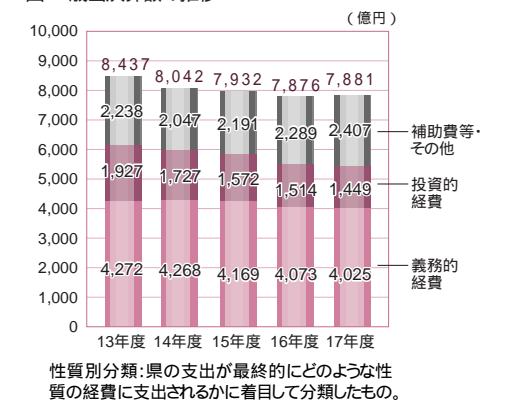


図2. 歳出決算額の推移



決算状況や財政状況については、県のホームページでご覧になれます。
問 県財政課 ☎022(211)2312 <http://www.pref.miyagi.jp/zaisei/>

ご案内

所得税と住民税が変わります

地方分権の実現を目指す三位一体改革の一環として、所得税(国税)から住民税(地方税)への税源移譲が実施されます。ほとんどの方は、今年の1月分から所得税が減り、そのぶん6月分から住民税が増えることとなります。しかし、税源の移し替えなので「所得税+住民税」の負担は基本的には変わりません。

ただし、これとは別に実施される定率減税の廃止などの制度改正により、ほとんどの方は、所得税と住民税を合わせた負担額が増えることとなります。

詳しくは、下記へお問い合わせいただくか、ホームページをご覧ください。

☎県税務課
☎022(211)2323
<http://www.pref.miyagi.jp/zeimu/>

難病患者支援ボランティア講習会

難病患者の皆さんを支えるボランティアを養成するため、講習会を開催します。

県民ロビーコンサート

日時 1月24日(水)午後0時15分~45分
場所 県庁1階ロビー
出演 畑山康子・浅野直美
【アトサックス・ピアノ】
曲目 「七つの子」「川の流れるように」ほか
☎022(211)2527

内容=講演、介護の実践など(参加無料)
日時=1月21日(日)午前10時~午後3時30分
場所=仙台市福祉プラザ
申し込み・問い合わせ=1月17日(水)まで、宮城県患者・家族団体連絡協議会
☎・FAX 022(275)6360へ

☎県健康対策課 ☎022(211)2636

知事への提案をお寄せください

県では、「一人ひとりの声が届く県政」を推進するため、県民の皆さんからの提案をお待ちしています。提案は、すべて知事が直接読み、担当部局で十分に検討し、県政に反映させるよう努めます。

提案方法=①郵便(〒980-8570住所不要)、またはFAX 022(211)2297で知事への提案「明日のみやぎに一筆啓上!」係(県行政経営推進課内)へ送付②ホームページ(<http://www.pref.miyagi.jp/gyokei/gyokei-ser/ippitu/ippitu.htm>)から直接入力

☎県行政経営推進課
☎022(211)2238

応急危険度判定士講習会

地震により建築物が被災した場合、余震でその建築物が倒壊し、二次災害が生ずるおそれがあります。このとき、住民の安全を確保するため、ボランティアで建築物の危険度判定を行うのが「応急危険度判定士」です。

受講者には登録証を交付します(受講無料・有効期間は5年)

期日・場所・定員=

- ①1月29日(月)...県庁2階講堂(約175人)
- ②1月30日(火)...県庁2階講堂(約175人)
- ③2月7日(水)...県大崎合同庁舎1階大会議室(約100人)

対象=一級・二級・木造建築士など
申し込み=(社)宮城県建築士会 ☎022(262)2867へ

☎県建築宅地課
☎022(211)3245

試験

危険物取扱者試験

試験種類=乙種第4類
試験日=3月4日(日)
試験会場=東北大学川内北キャンパス
願書=下記および各消防署で配布
受付期間=1月29日(月)~2月2日(金)

☎(助)消防試験研究センター宮城県支部
☎022(276)4840

☎県消防課
☎022(211)2374

<http://www.pref.miyagi.jp/syoubou/>

平成19年度宮城県立高等技術専門校学生募集(追加募集)

校名・科名=
【白石】①OAビジネス②情報通信技術
【仙台】①精密機械加工②建築製図③広告看板④インテリア・サービス⑤設備工事
⑥ファッションビジネス⑦塗装施工
【大崎】①電気②建築

【石巻】①金属加工
訓練期間=1年または2年(科によって異なります)

応募資格=高校卒業(見込みを含む)もしくは同等以上の学力を有する若年者の方
願書受付=1月9日(火)~19日(金)
選考日=1月29日(月)
選考内容=学科試験(高校1年までに履修する基礎的な国語・数学の問題)と面接

☎県産業人材育成課
☎022(211)2762

<http://www.pref.miyagi.jp/sanzin/>

平成19年度宮城障害者職業能力開発校訓練生募集

対象=身体に障害のある方(応募資格がありますので、詳しくはお問い合わせください)

科名・訓練期間=①デジタルデザイン科(1年)②福祉機器科(1年間)③情報システム科(1年)

願書受付=1月15日(月)まで
試験日=1月29日(月)

☎宮城障害者職業能力開発校
☎022(233)3124

FAX 022(233)3125
<http://www.pref.miyagi.jp/miyashou/>

測量士・測量士補試験

試験日=5月20日(日)
試験地=宮城県ほか全国14都道府県
願書受付=1月15日(月)~2月28日(水)
願書配布=1月15日(月)から国土地理院東北地方測量部、県用地課、各土木事務所まで配布

☎国土地理院総務課
☎029(864)8214
<http://www.gsi.go.jp/>

☎県用地課
☎022(211)3122

募集

自然環境サポーター養成講座

自然環境に関するサポーターを養成します(受講無料・昼食持参・仙台駅前または泉中央駅前からバスで移動)
テーマ=かんじきを作って雪原を歩こう
期日=2月4日(日)
場所=蔵王町(定員45人)

申し込み=1月15日(月)まで(消印有効)
往復はがきに、住所、氏名、年齢、性別、電話番号を記入し、宮城県森林インストラクター協会事務所(〒981-0121利府町神谷沢字菅野沢41)へ

☎県自然保護課
☎022(211)2676

在職者向けJIS溶接技能者評価試験準備講習会

内容=A-2F(手アーク)、S A-2F(半自動)などの資格取得を目標とした学科・実技の講習(受講無料)
期日=1月22日(月)~23日(火)
教科書代=A-2F...2,100円、S A-2F...2,300円

申込期限=1月10日(水)

☎石巻高等技術専門学校
〒986-0853石巻市門脇字青葉西27-1

☎0225(22)1719
<http://www.pref.miyagi.jp/is-kougi/>

コールセンターオペレータ養成セミナー

対象=コールセンターでオペレータとして働きたいと考えている県内在住の方
定員=26人(事前説明会出席者から選考)
講習期間=1月24日(水)~30日(火)

場所=仙台第一生命タワービル(仙台市青葉区一番町4-6-1)

受講料=1,500円
募集期限=1月17日(水)

申し込み=オペレータ養成セミナー事務局 ☎022(711)2042へ

【事前説明会】
日時=1月18日(水)(時間は申込時に指定)

場所=仙台第一生命タワービル

☎県情報産業振興室
☎022(211)2479
<http://www.pref.miyagi.jp/jyoho-i>

障害者初級スポーツ指導員養成講習会

対象=障害者スポーツに関心があり、受講後、指導員として活動できる方
期日=1月27日~2月24日の各土曜日
場所=宮城県障害者福祉センター(仙台市宮城野区幸町4-6-2)ほか

受講料=無料
定員=30人(応募多数の場合、抽選)
申し込み=1月10日(水)~19日(金)(火・日曜日と祝日は休館)に、宮城県障害者スポーツ協会 ☎022(257)1005へ

☎県障害福祉課
☎022(211)2541

みやぎの人口	県推計人口	男	女	住民基本台帳に基づく世帯数	外国人登録人口
平成18年11月1日現在	2,355,493人	1,145,377人	1,210,116人	884,234世帯	16,282人

県推計人口/国勢調査人口を基礎とした総人口 世帯数は、住民基本台帳に基づく平成18年10月末現在の世帯数